



河骨保護の会

コウホネ



今福薬医門公園、産川せせらぎ公園などに、自生地から約170株を移植しました。この時の移植株がそれぞれの場所で花開き、黄色いきれいな花を咲かせています。絶滅危惧種ⅠA類に指定されている河骨。花は、11月ごろまで楽しむことができます。

【連絡先】
真形 衛

☎(231) 2177

✉magata@olive.ocn.ne.jp

河骨：スイレシ科。多年草の水草。4月～11月に3～5センチの黄色い花を咲かせます。泥の中に見える白い根茎を「河の中にある骨」と見て、河骨（コウホネ）と名前が付けられました。

絶滅危惧種ⅠA類：環境省のレッドデータブックの分類で、「ごく近い将来における野生での絶滅の危険性が極めて高いもの」のこと。

貴重な河骨が絶滅しないように

県内では、市内中新田にのみ自生する水草、河骨。この保護と環境保全に取り組んでいるのが、「河骨保護の会」の皆さん。同会は、地元自治会や中新田小学校関係者などが立ち上げた市民団体です。
5年前、自生地の水路工事に伴い、貫抜川や中新田小学校、



えびな消費者の会

環境保全のため、焼却時に発生する二酸化炭素などの減少と、プラスチックの原料となる石油資源の使用削減を目指し、「えびな消費者の会」は活動しています。

主に、プラスチックの一部であるレジ袋について消費者がどのように考えているのか、店舗にも協力してもらい、買い物袋持参者の調査・検証を実施、その結果を会報などで公表しています。

これからも、環境のために自分たちができることを考え、啓発を続けていきます。

【連絡先】

会長・松田美佐子

☎(231) 3090



身近な所から少しずつ

森の手入れや遊びなど みんなで楽しみながら活動中

「海老名の森」は、雑木林の手入れや遊びなど、楽しみながら雑木林の保全活動をしている市民ボランティアグループで、毎月第1日曜日に、上今泉の秋葉台自然緑地（市有地）の森で活動しています。



活動の合言葉は「アカサソリホッ」。
ア：遊び
カ：観察
サ：作業
ソ：創作（クラフト）
リ：料理
ホッ：ほっとすること（休息）
森は自然の遊び場であり、多くの生物が生活している場所です。森を見て、触って、理解することは、新鮮な驚きとともに私たちに知る喜びを教えてください。森での休息は最高のzeitung。ぜひ味わってみませんか？

【連絡先】

田村耕三

☎(232) 8567

✉kappatanmura@fork.ocn.ne.jp

雑木林保全活動ボランティア 海老名の森



まだ使える、もったいない品物で 民際支援を行っています

市内を中心に、資源のリユースリサイクルを推進する活動を展開している「WE21ジャパン海老名」。中央1丁目リユースリサイクルショップを開設し、その収益で、主にアジア地域の人たちに向けた自立支援プロ

ジェクトや、東日本大震災の被災者支援などを行っています。
2009年からは、市教育委員会主催による、小学校でのサマースクールでワークショップを開催するなど、市や地域主催の活動にも積極的に参加し、活動のPRをしています。
また、市民やボランティアに参加している人たちを対象に、支援先の報告会やリメイク講座なども行っています。

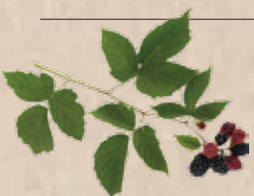
【連絡先】

WEショップえびな

☎(235) 4047

ホームページは「WE21ジャパン海老名」で検索

民際：市民や民間団体による、国の枠を超えた交流のこと。



神奈川県指定 NPO法人WE21ジャパン海老名